

項目	P T A主催学習会	地元説明会	地元代表協議会委員から送付されてきた 地元代表協議会で「取り上げたい事項」	
1 学校適正配置の必要性	①適正配置の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の適正配置は必要と考える。公立学校での格差が大きいのではないか。 ●千城台地区の1中、2小という提示はかなり前から地域の問題に上っていた。 ●この話は、学校規模において小規模校によるデメリットを改善していくことだと思っている。 ●財政面からこの事業が出てきているのではないか。 ●25人学級を経験した。十分いいところがある。なぜこの事業を行うのか、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●少子化のように社会情勢が変わっていく中で、子どもたちの教育環境を良くしていくためには、適正配置だけをやらばいいというものではない。千葉市の教育環境をどうしていくのかという方向性が見えない。 ●適正配置による教育的効果がよくわからない。小規模校でも他学年や他校との交流もできるし、クラス替えがなくても担任は変わる。教育環境を良くするためには適正配置よりも教員数を増やすことが必要ではないか。 ●花島小の統合によるメリット・デメリットを知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の規模、1校当たりの学級数が少ない場合について、特にどんな点がデメリットになっているのかを1つずつあげていき、どうすればその問題を解決できるのかを協議する内容にしてほしいと思います。そして、金額の問題でないというのであれば、伝統ある各校を残す方法を探してみることを考えていきたいと思っています。例えば、人数の多い学区の見直しを計り、人数の少ない学校の学区をある程度広げるなど、協議してはいかでしょうか。
	②統合の基準	<ul style="list-style-type: none"> ●統合校を考える際、何が基準になるのか。 ●耐震工事をやっていないため、統合の対象となっているのではないか。 ●耐震工事と統合対象との関連はどうなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校や非行等、さまざまな問題があるが、これは子どもを育てる環境が脆弱になっているからではないか。そういったことを考えると、学校の統廃合はかえってマイナスではないのか。 ●少子化を前提とした話であり、市の財政との関係も見え隠れしているのではないか。 	
	③教員の配置、学級の規模等	<ul style="list-style-type: none"> ●少人数のメリットもある。 ●学校規模と1クラス当たりの人数との関連はどうなっているのか。 ●現在、少人数でもしっかりできている。部活動の話がデメリットしてあげられたが、その説明は疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒数が少ないほど校内暴力、生徒間の暴力行為が少ないという統計報告がある。アメリカの学者が学級規模と学力の相関を調べた研究において、学級規模が小さいほど学力が高いという結果が出ている。こういった問題に市としてはどのように考えているのか。 ●統合により、教職員の数は増えるのか。 	
	③施設リニューアル	<ul style="list-style-type: none"> ●話し合いの途中で校舎のリニューアルはないのか。 		
	④安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●統合等を考える場合、かなり遠くから通学している児童もおり、安全面（通学路、セーフティーウォッチャーの確保、変質者の出没等）が心配。 ●学区が広い地域である。自転車通学は認められるのか。 ●治安の悪い地域である。代表協議会に入る方々はその辺をどの程度理解されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校が遠くなった場合、子どもルームから帰宅する際の安全面に不安がある。 ●国の通学距離の基準として法律で小学校4km、中学校6kmとなっているとのことだが、市として変えることはできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●行政区域（四街道市、八街市）に接する北町・御成台・金親地区生徒の安全対策（通学・防犯）各校が地区の南西部に片寄って設置されていることによる上記地区の安全対策について
2. 適正配置の方向性	①学区の設定	<ul style="list-style-type: none"> ●学区の変更もあり得るのか。 ●統合になった場合、最も遠いところからだと距離はどのくらいになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国の通学距離の基準として法律で小学校4km、中学校6kmとなっているとのことだが、市として変えることはできるのか。（前掲重複） 	
	②統合校の位置	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会として、統合のシミュレーション案はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●統合のシミュレーションが示されていないが、教育委員会としての案はあるのか。 	
	③統合の手順	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校と中学校のどちらを先に進めていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校と中学校のどちらを先に進めていくのか。 	
	④中学校の統合	<ul style="list-style-type: none"> ●西中と南中の交流がほとんどない中でどうやっていくのか。 ●中学校の統合を先に進めた方がいいのではないか。 		
3. 地域との関連	①街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●学校あつての地域である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の中から公共施設がなくなっていくように思う。その上、学校まで遠くなれば地域の衰退につながるのではないか。 ●学校の統廃合により、住環境への影響もあり、商店街等も影響を受けるのではないか。影響が大きいと認められる場合にはどのように対応するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●古くなった公営住宅の建て替えによる新規入居者による生徒数の増加対策について
	②組織等の再編	<ul style="list-style-type: none"> ●統合になる場合、各校ともP T Aもそれぞれである。それについてはどうなっていくのか。 		
	③跡施設		<ul style="list-style-type: none"> ●跡施設活用はどこが管理するのか。 ●跡施設の活用によりコストパフォーマンスが得られるであろう。 	
	④子どもルーム	<ul style="list-style-type: none"> ●統合になった場合、子どもルームはどうなっていくのか。統合になっても、子どもルームに関しては配慮してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校が遠くなった場合、子どもルームから帰宅する際の安全面に不安がある。（前掲重複） 	
4. 協議の進め方	①協議の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ●何年ぐらいを目途としているのか。話し合いが長期化してしまったらどうなるのか。 ●地域の方の考えも取り入れながら話しあっていくのか。 ●教育委員会から「統合案」は示されないのか、そうでないと話が進まないのではないか。 ●反対が多くあれば、この統合の話はなくなるのか。 ●「合意形成」とはどういうふうにしていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●統合が決定し、その後、統合校をどこの学校にするかを決めていくのは今から3～5年くらいかかると思う。その間、ずっと不安が続くのでは悶々とする。保護者としては、現実には統合によってどこの学校が残るのかということが知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●千城台地区学校適正配置の方向性（千葉市学校適性配置実施方針11ページ）に「平成27年度推計 小学校を2校・中学校を1校」とあるように、具体的にどこの学校を残すことを仮に決めて、協議を進めていくのはどうなのでしょう。「そこで何が問題か」「学区の区分けは？」「地域の意見は？」といったような協議を重ねていく方が議題も上がり、保護者・地域の皆様への不安な時間が短く、理解が得られていくのではないかと思います。グラフ資料・推計数字を見て、同じ質問等が多く感じられます。何が子どもたちにとって最善か否かを第一の協議にしたいと思います。
	②協議のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ●どうせ自分の子どもが通っているうちは話は進まないと思っている人も多いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●統合の最終的な決定はどこが行うのか。 	